

# 電源自動検査 ソフトウェア

自動解放区

PW-600E/PW-5000 共通

電子負荷

リップルノイズ

充放電

LED

電力回生

交流電源

安全試験器

自動試験システム

その他



## PowerTestSite



## PowerTestSiteMINI



## PowerTestSitePRO

PW-600E用の自動検査ソフトウェア PowerTestSite と PW-5000用の自動検査ソフトウェア PowerTestSiteMINI, PowerTestSitePRO は外観・操作性共に互換性があります。ソフトウェアの説明につきましては PowerTestSite について記述しておりますが、特に断りのない限り PowerTestSiteMINI, PowerTestSitePRO も共通とお考え下さい。

ソフトウェア名称	PowerTestSite	PowerTestSiteMINI	PowerTestSitePRO
対象製品	PW-600E	PW-5000	PW-5000
ハードウェア機器構成 (制限事項)	model-600E が 1 台以上組み込まれていること 負荷 5 ~ 20 チャンネル	入力 1kVA 以下 負荷 1 ~ 4 チャンネル GP-IB 機器台数 5 台以下	負荷 1 ~ 20 チャンネル

## ソフトウェアの構成

PowerTestSite は次の 4 種類のソフトウェアで構成されています。

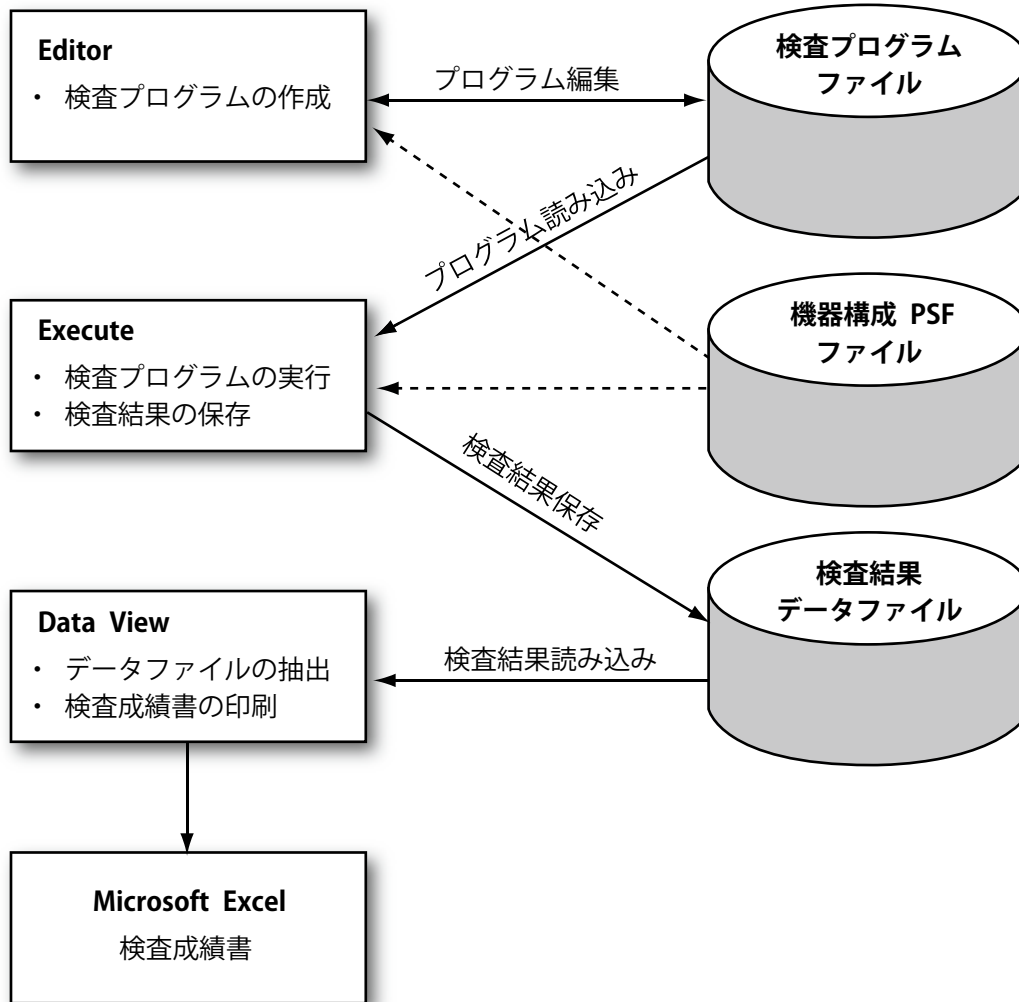
ソフトウェアの名称	概要
Project Manager (プロジェクトマネージャ)	検査プログラムや検査結果 (データファイル) などを一括して管理するためのソフトウェアです。
Editor (エディタ)	検査プログラムの作成・編集を行います。
Execute (エグゼキュート)	検査プログラムを実行し、検査結果をデータファイルとして保存します。
Data View (データビュー)	データファイルの中から必要なものを抽出し、Microsoft Excel に転送します。これにより検査成績書を作成することができます。

## 推奨動作環境

機種	IBM PC-AT 互換機
CPU	Pentium III 1GHz 以上
メモリ	512MB 以上
HDD	5GB 以上の空き容量
OS	Microsoft WindowsXP, Windows Vista

# 自動検査のプロセス

PowerTestSite では、下図のような流れにそって自動検査を実行します。Editor で検査プログラムの作成・編集を行い、Execute でこれを実行します。Execute により保存されたデータファイルの中から必要なデータを DataView により抽出し、Excel を使って検査成績書を作成します。



ファイルの名称	説明
検査プログラムファイル	Editor により作成した検査プログラムが保存されます。
機器構成 PSF ファイル	ハードウェア構成の登録内容が保存されています。このファイルの内容を変更することにより様々なハードウェア構成に対応することができます。ファイル形式は XML 準拠のテキストファイルとなっており、メモ帳等のソフトウェアで編集することができます。
検査結果データファイル	検査結果（数値データ、良否判定結果など）が保存されます。ファイル形式は Microsoft 社のデータベースソフトウェア Access 互換の MDB 形式となっています。

検査成績書作成支援機能		
	機能名称	概要
1	データファイル抽出	データファイルの中から各種条件を指定し、抽出することができます。
2	Microsoft Excel 連携機能	抽出された検査データを Microsoft 社の Excel に転送し、Excel を使って検査成績書を作成することができます。

電子負荷

リップルノイズ

充放電

LED

電力回生

交流電源

安全試験器

自動試験システム

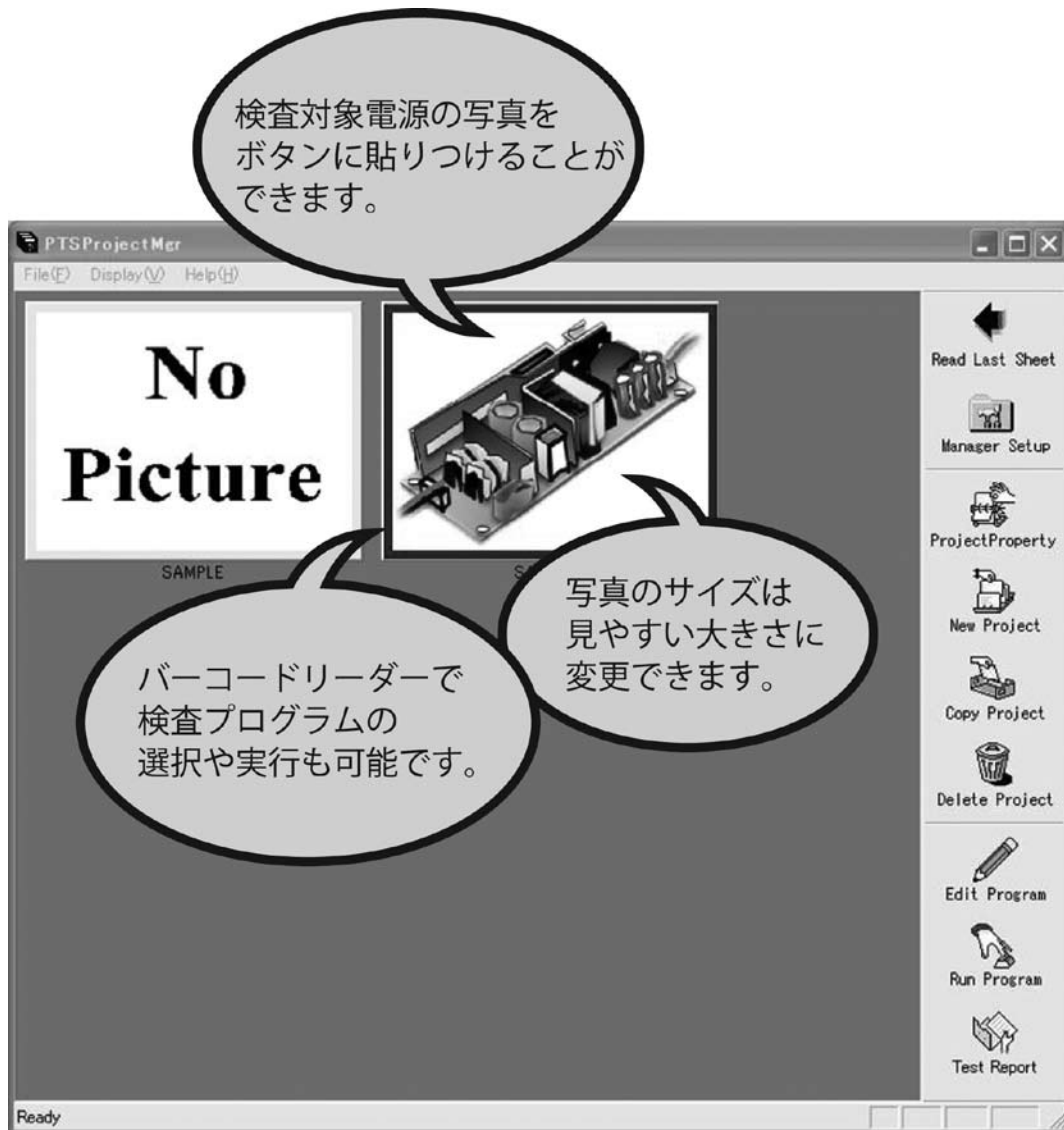
その他

# Project Manager (プロジェクトマネージャ) ソフトウェア

Project Manager は検査プログラムや検査結果（データファイル）などを一括して管理するためのソフトウェアです。以下の画面のように様々な検査対象電源の検査プログラムを写真付きでわかりやすく表示し、検査プログラムの編集や検査の実行を行うことができます。

また、製品がバーコードで管理されていればバーコードリーダーにより読み込まれた情報をもとに、その機種の検査プログラムを読み込んだり起動することができますので検査プログラムの間違いを排除し、同時にシリアル番号の入力をスピーディに行なうことができます。

以下の例では検査対象電源をデジタルカメラで写真を撮り、そのファイルを Project Manager の検査プログラムアイコン（ボタン）に登録したものです。このように実際の電源の写真を見ながら検査プログラム編集や検査実行を起動することができますので、わかりやすく間違いがありません。



電子負荷

リップルノイズ

充放電

LED

電力回生

交流電源

安全試験器

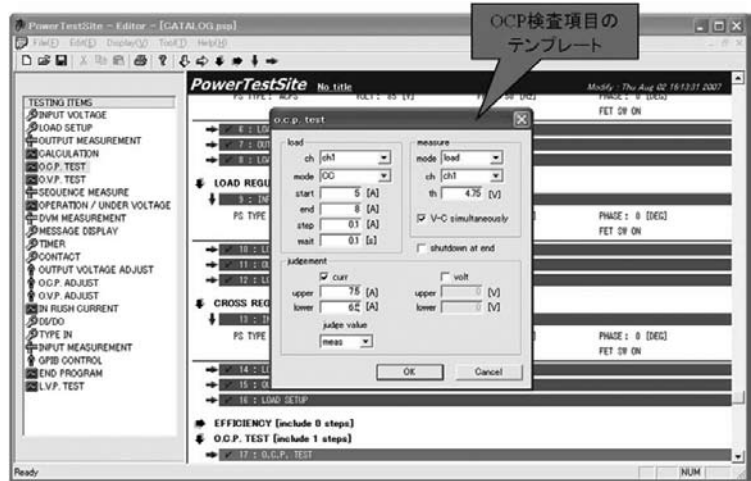
自動試験システム

その他

## Editor (エディタ) ソフトウェア

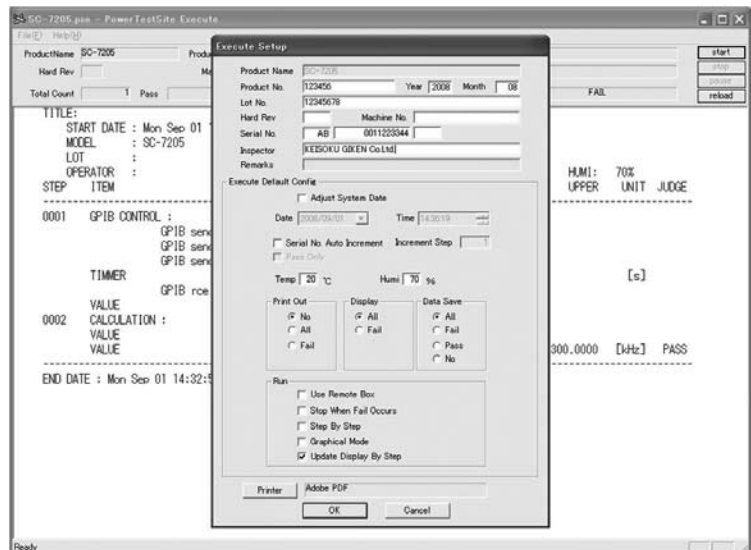
Editor は自動検査プログラムを作成・編集するためのソフトウェアですが、プログラミングの知識は全く必要ありません。あらかじめ用意されたスイッチング電源の試験項目の中から必要な項目を選択し、テストパラメータを選択、入力するだけで容易に検査プログラムを作成することができるからです。

右の例は O.C.P. (過電流保護) 機能試験項目の例となっております。このようなテンプレートが用意されており、O.C.P. 試験に必要なパラメータを入力すればプログラム作成は終了です。他の試験項目についてもこのようなテンプレート形式でプログラムを作成できるようになっております。



## Execute (エクスキュート) ソフトウェア

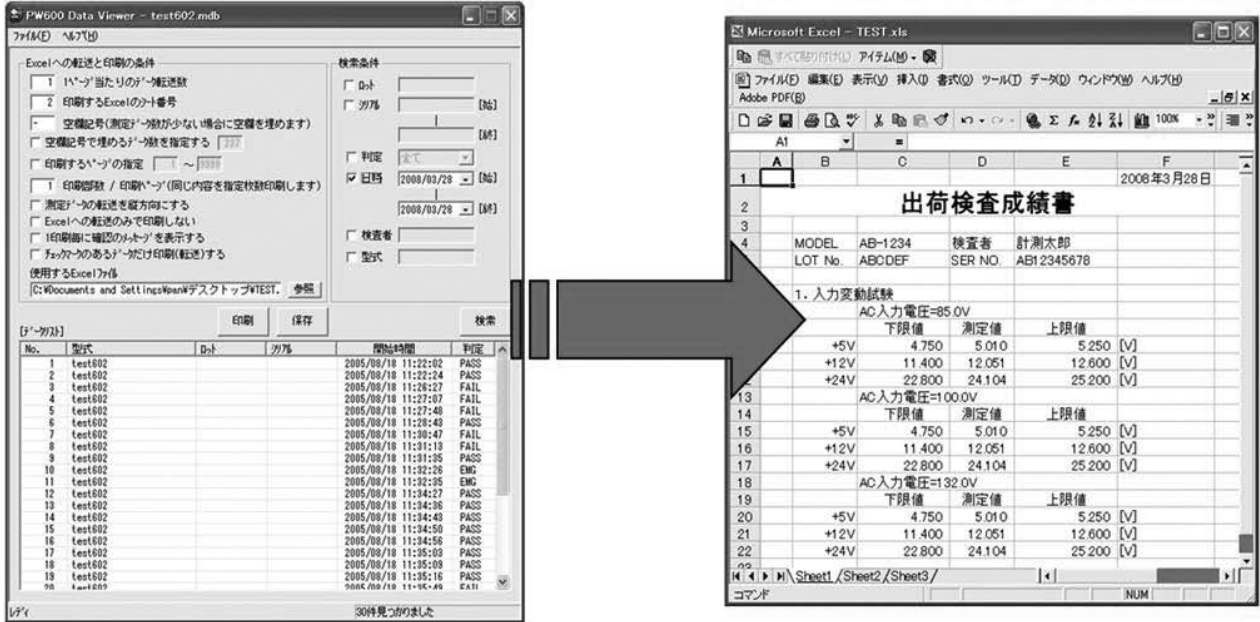
Execute では Editor により作成された検査プログラムを実行し、検査(測定)結果を PC のハードディスクに保存します。以下の例のようにロット番号、シリアル番号等の入力を行いスタートボタン (OK) を押すと検査を開始します。このとき、バーコードリーダを利用すればシリアル番号入力の手間を省き、バーコードリーダのスキャンと同時に検査を開始することができます。



# Data View (データビュー) ソフトウェア

Data View ソフトウェアでは検査プログラムで取得された検査結果 (データファイル) の中から必要なものを抽出し、下図のように Microsoft Excel のワークシートに転送することができます。

Data View の抽出機能によりロット番号やシリアル番号、検査日時等で絞り込んだ結果を Microsoft Excel に転送し、Excel 側であらかじめ作成した様式で検査成績書を印刷することができます。



電子負荷

リップルノイズ

充放電

LED

電力回生

交流電源

安全試験器

自動試験システム

その他

# PW-600E 旧製品からの移行について

PW-600E は初代の検査システムから数えると第3世代となっており、おおむね下表のような製品構成の流れとなっています。

	初代	第2世代	第3世代	備考
システム名称	PTS-500	PW-600	PW-600E	
ソフトウェア	UPIS	PowerTestSite	PowerTestSite	
OS (オペレーティングシステム)	MS-DOS	Windows98 Windows2000	WindowsXP Windows Vista	
PC インターフェース	専用バス	USB (IFX-500)	USB	PW-600 は専用バスから USB に変換するためのインターフェース (IFX-500) が必要です。
交流入力部 (交流電源)	model-502 model-502P model-512	model-502P model-512	model-602	PW-600, PW-600E は他の交流電源にも対応しています。
直流入力部 (直流電源コントローラ)	model-509 model-513	model-509 model-513	model-519	直流電源コントローラ以外に直流電源が必要となります。
出力部 (測定・負荷)	model-500 model-501	model-500E	model-600E	PW-600, PW-600E は EL シリーズ等の単品電子負荷も追加可能です。
リップル測定方式	RC-01	RC-01	RC-01 / RC03 (選択可能)	RC01 : パルス幅デューティ比設定方式 RC03 : デジタルピークホールド方式

旧 OS (MS-DOS) の PTS-500 をお使いのお客様が現行の Windows 版に移行する場合、次のような方法があります。

- ソフトウェアのみの移行  
ハードウェアは既存のものを使用し、ソフトウェアを Windows 版 (PowerTestSite) に移行することは可能ですが、PC インターフェースが異なるためソフトウェア以外にインターフェース変換器 (IFX-500) が必要となります。既存のハードウェアが老朽化している場合、この方法はあまりお勧めできません。
- ハードウェアも含めて移行  
ハードウェアとソフトウェアを現行の PW-600E に移行した場合、旧製品で作成した検査プログラムをそのまま読み込むことはできませんが、旧製品で作成した検査プログラムを PowerTestSite 用に変換するソフトウェア upis2pts を無償でご提供しております。(upis2pts は前項の場合もご利用可能です)

### ※ upis2pts について

旧 MS-DOS 環境と Windows 環境では PC の実行速度などが全く同じではないことから、upis2pts で変換・作成された Windows 版の検査プログラムは 100%の動作保証を行っておりません。変換された検査プログラムの中にタイマーステップなどを挿入するなどの作業が必要になる場合があります。